



バレーボールVリーグ女子1部五所川原大会が開催され、当市が応援しているPFUブルーキャッツが見事連勝を飾りました。

私も初めて観戦しましたが、ダイナミックなスパイクや見応えのあるラリーなど、スピード感いっぱいの熱戦に感動しました。PFUブルーキャッツのますますの活躍を期待しています！

11月30日 バレーボールVリーグ女子1部 PFUブルーキャッツ

バレーボールVリーグ女子1部五所川原大会が、11月30日、12月1日の2日間、五所川原市民体育館で行われました。

当市は、PFUブルーキャッツの活動を支援しており、同チームのサブホームタウンとなっています。サブホームゲームとして行われたヴィクトリーナ姫路戦では、堀口選手の強烈なスパイクが冴えるなど、3-1で勝利し11試合ぶりの白星を挙げたほか、日立リヴァーレ戦はフルセットの接戦の末、3-2で勝利し今季初めての連勝を飾りました。

会場には、県内外から多くのバレーボールファンが訪れ、一流の迫力あるプレーに大きな歓声が上がりました。



12月1日 第13回 津軽すこっぷ三味線 世界大会

12月1日、津軽すこっぷ三味線世界大会がエルムホールで開催され、全国各地から集った愛好者が、華麗なバチ（栓抜き）さばきで自慢の腕を競いました。

本大会の魅力は、何といても、仮装や踊りもOKという自由な雰囲気の中、芸術性と娯楽性を兼ね備えた情熱溢れる演奏により、ステージと会場が一体となって盛り上がるのだと思います。

皆さん、思い思いのこだわりの衣装に身を包み、本大会のスローガンである「もつけ」の精神で、「感動と笑い」のステージが繰り広げられ、会場は熱気に包まれました。



12月9日 立佞武多が台湾に向け出発！

1月10日から12日までの3日間、台湾台北市の百貨店「大葉高島屋」において、海外では初となる五所川原市主催の物産展「青森県まるごと五所川原フェア」を開催します。

五所川原の魅力をぎゅっと詰め込む当物産展には、りんごをはじめとする特産品のほか、立佞武多も展示することとしており、12月9日に高さ4.6メートルの小型立佞武多「津軽十三浦伝説・白髭水（しらひげみず）と夫婦梵鐘（めおとぼんしょう）」を台湾に向け、搬出しました。

冬晴れのもと、穏やかな日の光がこれから始まる台湾との交流を明るく照らしているかのようでした。

立佞武多はもちろん、ここにしかない五所川原らしさをトップセールスにより、しっかりとPRしたいと思っています。



国際大会、殻を破り活躍誓う



活躍を誓う小田桐さん(中央)

12月28日より台湾の嘉義市で開催された「第17回日台国際野球大会」の選抜メンバーに選ばれた小田桐弘武さん（弘前学院聖愛中2年、弘前聖愛リトルシニア所属）が12月11日、市長を表敬訪問しました。

小田桐さんは、昨年10月に秋田県で行われた秋季新人大会に主力選手として出場し、チームをけん引して準優勝に導き、そのプレーが評価され、国際大会の選抜メンバーに選ばれました。

また、チームは3月に大阪で開催される「第26回日本リトルシニア全国選抜野球大会」に出場します。

小田桐さんは「国際大会では、仲間との交流を深め、自分の殻を破って生まれ変われるような大会にしたいです。また、国際大会での経験をチームに持ち帰って日々練習し、大阪での全国大会はベスト4を目指します」と力強く語りました。